

## 生物多様性条約 COP10 が愛知・名古屋で開催



生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

### 生物多様性条約第10回締約国会議

2010年10月に、愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されます。COP10は、生物多様性条約の191の締約国等が集まり、各国が持つ課題やその解決方法、国際的な枠組みづくりなどについて討議するもので、大変重要な意義を持つ会議です。生物多様性条約事務局（カナダ・モントリオール）が主催する会議であり、締約国の政府代表者、国際機関、NGOなど国内外から7,000名以上の参加を見込んでいます。

開催地となる愛知・名古屋は、会議の開催を支援するとともに、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進し、自然との共生に向けた地域づくりを促進するため、2008年9月に生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会（COP10支援実行委員会）を設立しました。

COP10支援実行委員会では、生物多様性の大切さを身近に感じていただき、皆様と共にCOP10を盛り上げていくことができるよう、当委員会の活動やイベント情報などを、「COP10ニュース」として随時発行し情報発信しています。是非ご覧ください。

↓↓「COP10ニュース」は以下のページからご覧いただけます。↓↓

[COP10支援実行委員会：COP10ニュース](#)

### 生物多様性国際自治体会議

COP10の開催にあわせて、10月24日から26日まで愛知県名古屋市内にて、「生物多様性国際自治体会議」が開催されます。これはCOP10の開催期間中に、国内外の自治体関係者、国際機関関係者が一同に集まり、「都市と生物多様性」の重要性を確認し、世界の自治体の情報共有・経験交流を深めるとともに、生物多様性保全のための地域行動の一層の拡大の必要性を世界に呼びかけることを目的とする会議です。

また今年11月には、国内自治体の共通課題・問題点の抽出や生物多様性保全の取組事例等の情報交換を通じて、各自自治体の生物多様性保全施策の実効性を高めることを目的とするプレ国際自治体会議が開催されます。

